

「特別支援教育支援員が生きる校内連携のしおり」について

特別支援教育課

1 作成の趣旨

小・中学校では、特別支援教育を必要とする児童生徒が増加し、教師だけでは十分な支援が困難な場合がある。このようななか、特別な教育的支援を必要とする児童生徒を支える上で重要な役割を果たしている「特別支援教育支援員」を校内体制に位置づけ、関係職員との連携のもと支援の充実を図ることを目的に、「特別支援教育支援員が生きる校内連携のしおり」を作成。

* 「第3次長野県特別支援教育推進計画」に基づく取組

* 長野県教育支援委員会（構成員：医師、教員、保護者、福祉職員等）での検討を経て作成

2 特別支援教育支援員の主な役割等

* R4 配置人数:全県で1,209人

- ・ 基本的な生活習慣確立のための日常生活の介助
- ・ 発達障がいのある児童生徒に対する学習支援
- ・ 学習活動、教室間移動等における介助
- ・ 児童生徒の健康・安全確保関係
- ・ 運動会、学習発表会等の学校行事における介助
- ・ 周囲の児童生徒の障がい理解促進 等

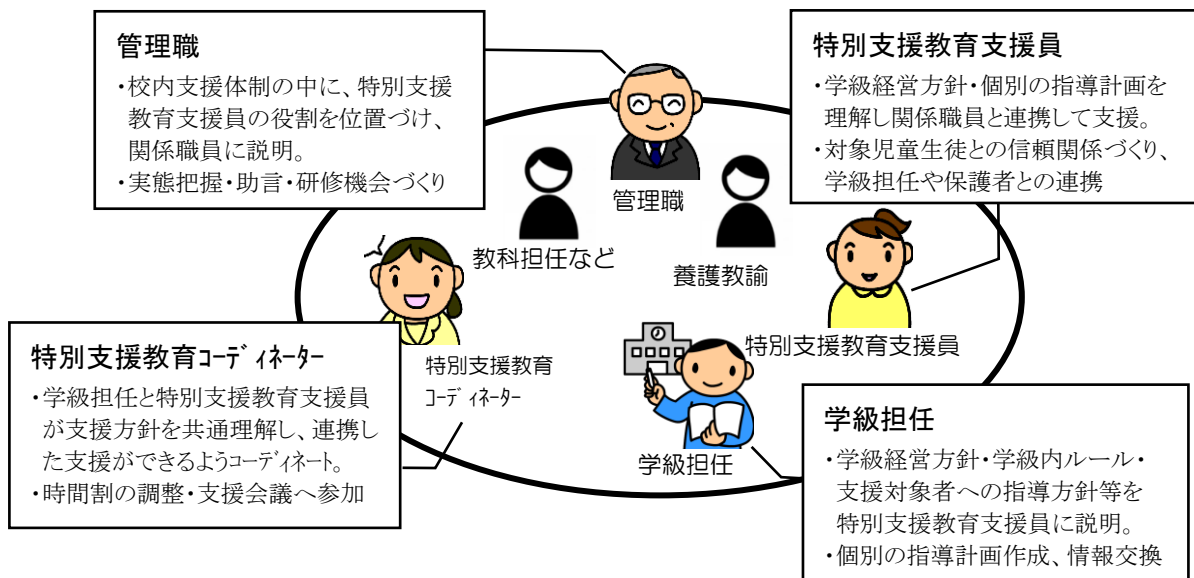
【A市の例（R5）】

（身分）パートタイム会計年度任用職員
（勤務）年210日、1日6時間以内
（配置）小34名（うち1名医ケア支援）
中14名
（職務）①生活・学習支援、②介助支援
③医ケア支援（①47人、②1人）
（研修）年2回（講演・グループワーク等）

3 「特別支援教育支援員が生きる校内連携のしおり」

【内 容】

- ・ 特別支援教育支援員の業務内容、校内支援体制構築の意義
特別支援教育支援員を含めた「チーム学校」による体制づくりの重要性 等
- ・ 特別支援教育支援員が生きるための、関係職員ごとの役割・配慮事項・取組事例 等



- ・ 参考資料（連携チェックシート・Q & A・参考となる刊行物）

【周知・活用】

- ・ 市町村教育委員会・学校・教育事務所等への配布・活用依頼
市町村教育委員会や教育事務所の指導主事による学校訪問時に活用・校内研修で活用 等
- ・ 管理職・特別支援教育コーディネーター・教員向け研修等で活用
- ・ 県教育委員会ホームページへの掲載 等